

ふれあい大会 感染症及び熱中症対策とそれらを考慮した試合システム

※コロナウイルス感染拡大対策を徹底する。

※全選手及び引率者に関して健康チェックシートを記入しチーム毎にまとめて受付に提出すること。

※日本スポーツ協会及び日本キンボールスポーツ連盟感染症対策ガイドラインに沿った運営を行う。

※下記(1)～(9)は参加者に求める感染拡大防止のための措置である。

(1) 大会当日、以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。

ア 体調がよくない場合(例:平熱を超える発熱・せき・のどの痛みなど風邪の症状、だるさ、味覚・嗅覚の異常などがある場合。このような症状がある場合、入場をお断りします。)

イ 同居家族や身近な知人に感染者、もしくは感染が疑われる方がいる場合。

ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

(2) マスクを着用する。

(3) イベント時間内休憩時に、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。

(4) 他の参加者、スタッフ等との距離(2mを目安)を確保する。

(障がい者等の誘導や介助を行う場合を除く。)

(5) イベント中に大きな声で会話、応援等をしない。また必要のない会話は控えること。

(6) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う。

(7) イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

(8) 選手にゼッケンの持参を義務付ける。(都連レンタル品はクリーニング業者でクリーニング後返却)レフリーはレフリーに関する用具一式を各自持参すること。

(9) 参加者の連絡先を個人情報保護法に記載されている個人情報の取り扱いルールに則って適切に管理する。

※その他の事項もガイドラインで確認すること。(日本連盟ホームページを参照すること)

※参加チームの引率者等は感染症及び熱中症対策を理解しチームの感染症対策及び安全管理を行うこと。

※大会会場全ての入場者(12歳以上)はワクチン接種を完了していることが望ましい。

※大会会場全ての入場は手指消毒(手洗い)・検温を実施する。体温37.5℃以上の場合入館できない。

※大会会場内では必ずマスクを着用すること。予備のマスクを持参すること。

※試合中もマスクを着用する。ただし息苦しさ等を感じた場合を除く。息苦しさを感じた時はすぐにマスクを外すことや休憩を取る等、無理をしないこと。

※試合中息苦しさを感じたら早めに選手交代すること。

※小中高校生の参加者は特に息苦しさがあっても無理しがちなので、引率者が体調を見極めること。

※各チームは選手の安全性を考慮し、5名以上でのチーム編成が望ましい。

※タオルを共用して使用しないこと。ドリンクの回し飲みもしないこと。

※全部門のレフリーは一人制の場合がある。(参加チーム及びレフリー数で変更の場合あり)

※更衣室の使用は制限する。できる限り試合に臨めるユニホームで来場することが望ましい。

※各チーム入館の時間を指定します。(時差入館)

<本大会アリーナにおける試合前後・試合中のコロナウイルス感染対策>

- ・試合中もマスクを着用すること。大会前にマスクをつけてプレーをし、マスク使用の状態を確認すること。
- ・レフリーはホイッスルを使用の場合ホイッスルにホイッスルカバーと顔にフェイスガードやフェイスカバー（フェイスシールドの使用は不可）を、電子ホイッスル使用の場合はマスクを着用する。
- ・レフリー備品は各自で用意し使いまわしをしないこと。主管団体からの貸し出しはありません。
- ・本部席はアリーナ入口付近に設置する。本部席の滞在人数を制限する。
- ・観客席からアリーナへ（入場）の導線は右側から、アリーナから観客席へ（退場）の導線も右側の片側一方通行とする。（右側通行の原則）階段上り下り時も右片側通行すること。会話は控えること。
- ・アリーナへの入場は試合のある選手、引率者、レフリー及び大会スタッフのみとする。
- ・アリーナへの入場時は全員が手指・足裏消毒・検温を実施する。
- ・アリーナへの入場は試合のチームのみとする。

試合以外のチームは観客席で待機すること。

- ・消毒・検温を担当する者は、手袋使用が望ましい。手袋の使いまわしはしない。
- ・試合毎のアナウンスで選手（ゼッケンを着用して）、レフリー（HR、AR）、引率者はアリーナへ入場し、指定されたコートの本チに集合すること。
- ・スコアキーパー（SK）は専属とし、手袋を使用すること。（試合ごとにスコアボードの消毒はしなくても良い。SK交代時にはスコアボードを消毒すること。）
- ・アリーナ入口時は各自検温・手指及び靴裏消毒をすること。本部前でレフリーが確認する。（アルコール消毒が苦手な場合手指の手洗いを入場直前に実施しておくこと）
- ・選手・引率者・スタッフのすべての対象者が検温時 37.5℃を越えた場合、大会会場から退場する。（チーム内一人（引率者含む）でも 37.5℃を超過した場合、数分後に再検温可能だが 2 度目でも超過した場合はチーム全員が退場となる。）
- ・ベンチでの荷物は各自袋に入れた状態で置くこと。
- ・試合使用のボールはピリオドごとに消毒済ボールを使用する。（SK が確認・消毒する）
- ・ピリオド時チーム全員及びレフリーは手指消毒すること。
- ・試合前後や試合中、ピリオド間の休憩時、無駄な会話や飲料の飲み回しをしないこと。
- ・試合前後や試合中選手、引率者、観客等大声での応援・声援・会話等をしないこと。
- ・試合後選手、引率者、レフリーはアリーナから退場すること。（交代しない SK は待機可）
- ・開閉会式は簡素化する。選手・引率者は観客席で参列する。
- ・アリーナの空調や換気を行う。それによる試合への影響は考慮しない。
- ・試合後ベンチの消毒はスタッフ（SK）が行う。

<本大会観客席におけるコロナウイルス感染対策等>

- ・常にマスクを着用する。
- ・選手・チーム引率者 2 名・大会スタッフ以外の入場はできない。（すべて登録者とする）
- ・入退館は 1 階 1 か所のみとし、必ず受付で手指消毒および ID の提示をすること。その際登録チーム名選手名等を受付係が確認し、登録者以外の入館はできない。
- ・地下 1 階からの入退館はできません。
- ・登録者変更の場合受付にて登録変更する。当日は時間がかかることがあります。（事前の変更をお願いします）

- ・ 全員館内入口にて手指消毒・検温の実施。拒否した場合そのチームは失格（試合棄権）とする。
- ・ 検温時 37.5°Cを越えた場合、大会会場から退場する。（チーム内一人（引率者含む）でも 37.5°Cを超過した場合、数分後に再検温可能だが 2 度目でも超過した場合はチーム失格とし試合棄権となる。）
- ・ 空調や換気を行う。各自で体調管理をすること。
- ・ 小中高校生に対して、引率者は責任を持ち体調管理する。
- ・ 座席位置管理及び不審者対策のため、チームごとに指定された区域での着席をすること。
- ・ 各自の荷物は貴重品を含めて各々チームで管理すること。
- ・ 靴以外荷物はバックや袋等に入れてしまうこと。
- ・ 安全管理・感染症対策のためにも人の荷物には触らないこと。
- ・ 立ち上がったの応援・声援は行わない。大声での声援・無駄な会話・長時間の会話もしないこと。
- ・ フィジカルコンタクト（ハイタッチや肩組みなど）や座席の移動は禁止する。
- ・ 館内での食事は禁止する。
- ・ トイレ後の手洗い・消毒を忘れないこと。
- ・ 試合のアナウンスがあったチームは招集所（アリーナ入口）に集合すること。
- ・ 試合後速やかにそして静かに観客席へ戻ること。
- ・ 退館時は代表者（引率者）が責任をもって、忘れ物有無の確認と利用席の消毒清掃を行うこと。

<試合システム>

各チーム予選 3 試合とし、予選上位 3 チームによる決勝戦を行う。（参加チーム数により変更有）

1 試合に要する時間は、集合のアナウンスから試合終了まで消毒時間を含めて約 20 分とする。

1 試合 1 ピリオド 7 分とする。 全試合 3 分 30 秒で 1 分ブレイクタイムとする。

1 試合は、前半 3 分 30 秒+1 分+3 分 30 秒 となる。

ブレイクタイムは熱中症対策のため主に水分補給と休息時間に充てることとする。

ブレイクタイム後のヒットインチームは、ブレイクタイム開始時にボールを保持していたチームが保持していた場所で行う。なお、空中でブレイクタイムになった場合はそれ以前に保持していたチームとする。